

# 第 51 回日本犯罪学会総会プログラム

2014 年 10 月 11 日(土)

一橋講堂 2 階 中会議室 3・4(学術総合センター内)

総会長 澤口聡子 帝京平成大学地域医療学部

## 09:30-09:35 【開会の辞】

総会会長 澤口聡子 (帝京平成大学地域医療学部・同大学院健康科学研究科教授)

## 09:35-11:05 【一般発表】(発表 7 分、質疑 3 分)

<第一セッション> 座長: 上村公一 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科法医学分野教授)

小川恒夫 (東海大学文学部心理・社会学科教授)

09:35-09:45 1. 「腹部外傷による交通事故死剖検例の検討」

○古川智之、森田沙斗武、西克治、一杉正仁 (滋賀医科大学社会医学部門法医学講座)

09:45-09:55 2. 「頭部打撲後、河川へ遺棄された後に死亡したと思われる水中死体の一部検例」

○山田 真嗣<sup>1)</sup>、中嶋 信<sup>2)</sup>、上村 公一<sup>1)</sup> (<sup>1)</sup>東京医科歯科大学法医学分野、<sup>2)</sup>東京大学法医学講座)

09:55-10:05 3. 「葉莢の莢口で形成される特徴痕を用いた弾丸と葉莢の関連性」

○西嶋靖治、池田英明、竹下尚紀、平島昭雄、戸山恭平、立石吉忍 (福岡県警察科学捜査研究所)

10:05-10:15 4. 「尿酸／クレアチニン比と HPLC クロマトグラムを指標とするヒト尿斑証明法の確立」

○藤城雅也、佐藤啓造、入戸野晋、大宮信哉、李曉鵬 (昭和大医学部法医学講座)

10:15-10:25 5. 「元科学捜査官による「DNA 鑑定」の検証(その2)～冤罪のない安全と安心の日本を目指して～」

藤田義彦 (徳島文理大学人間生活学部人間生活学科)

<第二セッション> 座長: 岡田幸之 (国立精神神経医療研究センター精神保健研究所司法精神医学研究部部長)

小川恒夫 (東海大学文学部心理・社会学科教授)

10:25-10:35 1. 「窃盗事犯の女子受刑者の発達・人格特徴と家族機能」

○小島秀吾<sup>1)</sup>、秋葉繭三<sup>1)</sup>、竹内瑠美<sup>2)</sup>、村山陽<sup>2)</sup>、須田誠<sup>3)</sup>、牛木潤子<sup>4)</sup>、星野仁彦<sup>5)</sup>

(<sup>1)</sup>国際医療福祉大学大学院、<sup>2)</sup>東京都健康長寿医療研究センター、<sup>3)</sup>高等教育総合研究所、  
<sup>4)</sup>福島刑務所、<sup>5)</sup>福島学院大学)

10:35-10:45 2. 「親族による児童に対する性的虐待の 2 例」

西條良香 (さいじょう産婦人科院長)

10:45-10:55 3. 「少年警察ボランティアにおける大学生の特性に関する研究—初めて委嘱された大学生への調査から—」

○藤原佑貴、宮寺貴之、久原恵理子、小林寿一 (科学警察研究所)

10:55-11:05 4. 「警察犯罪捜査力の検証 ～犯人像プロファイリング～」

○山村武彦<sup>1)</sup>、木下博之<sup>1)</sup>、菱田 繁<sup>2)</sup> (<sup>1)</sup>香川大学医学部法医学講座、<sup>2)</sup>兵庫医科大学法医学講座)

11:05-11:45 【特別講演】 座長: 支倉逸人 (東京医科歯科大学名誉教授、法医学)

「精神疾患と犯罪」

高久史磨 (日本医学会会長、東京大学名誉教授、自治医科大学前学長)

11:45-11:52 法務省より広報

11:52-11:59 国連アジア極東犯罪防止研修所より広報

11:59-12:55 昼休み

11:59-12:25 理事会(会議室 202)  
12:25-12:50 評議員会( 同上 )

12:55-13:25 【総会議事】 会場: 中会議室 3・4  
日本犯罪学会賞ならびに学術奨励賞授与

13:30-14:00 【教育講演】 座長 藤田真幸(慶応大学医学部法医学教授)

“NEW INTERNATIONAL GUIDELINES FOR THE INVESTIGATION OF DEATHS IN CUSTODY”  
(拘留中死亡に関する新国際ガイドライン)

Prof. Nuno VIEIRA, Full Professor of Forensic Medicine and Forensic Sciences, University of Coimbra /  
President of the European Council of Legal Medicine / President of IALM, IAFS,  
WPMO and MAFS (Portugal)

<コメンテーター>

澤口聡子 (帝京平成大学)

14:00-14:10 休憩

14:10-15:20 【シンポジウム: 日本における医療事故(Medical Malpractice)に関連する問題点  
—今後の方向性】

座長: 池田典昭 (日本法医学会理事長、九州大学大学院医学研究院法医学分野教授)  
有賀 徹 (昭和大学付属病院院長、日本救急医学会前代表理事)

14:10-14:15 シンポジウム企画要旨  
澤口聡子 (総会会長)

<シンポジスト>

14:15-14:30 法医学の立場から 池田典昭 (日本法医学会理事長、九州大学大学院医学研究院法医学分野教授)

14:30-14:45 救急医学の立場から 有賀 徹 (昭和大学付属病院院長、日本救急医学会前代表理事)

14:45-15:00 小児 AI の可能性 小熊栄二 (埼玉県立小児医療センター放射線科)

<コメンテーター>

加藤久雄 (元慶應義塾大学法学部教授)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:50 【Video & Web-Session “Education of Criminology for Judicial Experts”】

15:30-15:35 「犯罪学と教育」趣旨

安部哲夫 (獨協大学法学部教授)

15:35-16:35 【Video-Session】 共同座長 澤口聡子 (帝京平成大学) / Prof. Philip BEH (Dept. of Pathology, University of Hong Kong)

<プレゼンター>

15:35-15:40 澤口聡子 (帝京平成大学) (Japan)

- 15:40-15:50 Thomas L. SCHMID. J. D. (United Nations Asia and Far East Institute for the Prevention of Crime and Treatment of Offenders, U.S.A.)
- 15:50-16:05 Prof. Philip BEH (Dept. of Pathology, University of Hong Kong, Hong Kong)
- 16:05-16:20 Prof. Stephan PARMENTIER (Secretary General of International Society of Criminology, Belgium)

**16:35-16:50** **Web-Session** 共同座長 澤口聡子 (帝京平成大学) / Prof. Philip BEH (Dept. of Pathology, University of Hong Kong)

<全体討論、座長のまとめ>

**16:50-17:30** **【特別講演】** 座長 澤口聡子 (帝京平成大学)

“MALPRACTICE & LIABILITY”(医療事故と責任)

Prof. S.D.Ferrara (President of International Academy of Legal Medicine, Dean & Prof, School of Medicine of University of Padova)

Co-presenter: Dr.Guido Viel (University of Padova, Italy)

**17:30-17:35** **【閉会の辞】**

総会会長挨拶 澤口聡子

次期会長挨拶 池田典昭

**17:50-** **懇親会** 会場:2階 中会議場2

## **ポスター発表者**

P-1) 「BPD スキーマおよび ADHD 傾向からみる女子受刑者の犯罪特徴と家族特徴の検討」

○秋葉繭三<sup>1)</sup>、小島秀吾<sup>1)</sup>、竹内瑠美<sup>2)</sup>、村山陽<sup>2)</sup>、須田誠<sup>3)</sup>、牛木潤子<sup>4)</sup>、星野仁彦<sup>5)</sup>

(<sup>1)</sup>国際医療福祉大学大学院、<sup>2)</sup>東京都健康長寿医療センター研究所、<sup>3)</sup>高等教育総合研究所、<sup>4)</sup>福島刑務所、<sup>5)</sup>福島学院大学)

P-2) 「薬物事犯者の女子受刑者における ADHD 傾向に関して」

○北原舞<sup>1)</sup>、小島秀吾<sup>1)</sup>、竹内瑠美<sup>2)</sup>、村山陽<sup>2)</sup>、須田誠<sup>3)</sup>、牛木潤子<sup>4)</sup>、星野仁彦<sup>5)</sup>

(<sup>1)</sup>国際医療福祉大学大学院、<sup>2)</sup>東京都健康長寿医療センター研究所、<sup>3)</sup>高等教育総合研究所、<sup>4)</sup>福島刑務所、<sup>5)</sup>福島学院大学)

P-3) 「傷害事犯の女性受刑者の家族機能およびパーソナリティ/発達面の特徴」

○伊藤雄大<sup>1)</sup>、須田誠<sup>2)</sup>、牛木潤子<sup>3)</sup>、竹内瑠美<sup>4)</sup>、村山陽<sup>4)</sup>、小島秀吾<sup>1)</sup>、星野仁彦<sup>5)</sup>

(<sup>1)</sup>国際医療福祉大学大学院、<sup>2)</sup>高等教育総合研究所、<sup>3)</sup>福島刑務所、<sup>4)</sup>東京都健康長寿研究センター研究所、<sup>5)</sup>福島学院大学)

P-4) 「女子受刑者におけるパーソナリティ傾向に関する検討」

○伊東あづさ<sup>1)</sup>、小島秀吾<sup>1)</sup>、星野仁彦<sup>2)</sup>、牛木潤子<sup>3)</sup>、須田誠<sup>4)</sup>、竹内瑠美<sup>5)</sup>、村山陽<sup>5)</sup>

(<sup>1)</sup>国際医療福祉大学大学院、<sup>2)</sup>福島学院大学大学院、<sup>3)</sup>福島刑務所、<sup>4)</sup>高等教育総合研究所、<sup>5)</sup>東京都健康長寿医療センター研究所)

P-5) 「殺人事犯の女子受刑者の家族機能と ADHD および人格傾向の関連について」

○平間さゆり<sup>1)</sup>、秋葉繭三<sup>1)</sup>、坂本紀子<sup>1)</sup>、牛木潤子<sup>2)</sup>、村山陽<sup>3)</sup>、須田誠<sup>4)</sup>、星野仁彦<sup>5)</sup>、小島秀吾<sup>1)</sup>

(<sup>1</sup>) 国際医療福祉大学大学院、<sup>2</sup>福島刑務所、<sup>3</sup>東京都健康長寿医療センター研究所、<sup>4</sup>高等教育総合研究所、<sup>5</sup>福島学院大学)

- P-6) 「警察による非行少年の立ち直り支援に関する研究—縦断データを用いた検討—」  
○久原恵理子、宮寺貴之、藤原佑貴、小林寿一 (科学警察研究所)
- P-7) 「2回の傷害致死事件等13回服役の反社会性犯罪累犯者、アルコール性幻聴の症例」  
○鈴木三夫<sup>1)</sup>、池田啓子<sup>1)</sup>、中村正明<sup>1)</sup>、原田元<sup>2)</sup> (<sup>1</sup>報徳会 宇都宮病院、<sup>2</sup>脳波計量解析研究所)
- P-8) 「死因鑑定の妥当性 ～外傷性心タンポナーデか否か」  
○篠崎浩平、川口真理子、島田栄美、野坂みずほ、国中由美、石田裕子、木村章彦、近藤稔和  
(和歌山県立医科大学法医学教室)
- P-9) 「医療過誤の予防に向けての法医学的検討—判例と医療関連死解剖例の分析をもとに—」  
○入野晋、岡部万喜、藤城雅也、小淵律子、佐藤啓造 (昭和大学医学部法医学教室)
- P-10) 「メトヘモグロビン測定のための血液試料保存:グッドの緩衝液による希釈溶血液としての凍結保存法の家畜血・先天性メトヘモグロビン血症患者血への応用」  
○入野晋、小淵律子、藤城雅也、李曉鵬、佐藤啓造 (昭和大学医学部法医学教室)
- P-11) 「臨床看護師の倫理観と疲労との関係—道徳的発達段階・倫理観的感受性と蓄積疲労との比較—」  
○米澤弘恵、石津みゑ子、藤城雅也、入野晋、佐藤啓造 (昭和大学医学部法医学講座)
- P-12) 「在宅高齢者の睡眠支援に向けての研究—高齢者の主観的睡眠感とコーピング手法との関連をもとに—」  
○石津みゑ子、米澤弘恵、藤城雅也、入野晋、佐藤啓造 (昭和大学医学部法医学講座)

#### 問合せ先

第51回日本犯罪学会総会事務局

〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-14 ネオ荒木町ビル 2F

(株)ワールドミーティング内 池田・石井

TEL: 03-3350-0363 FAX: 03-3341-1830

<http://www.world-meeting.co.jp/jac51/>

E-mail: [j-crim2014@world-meeting.co.jp](mailto:j-crim2014@world-meeting.co.jp)